

令和7年度第2回ファミリー・サポート・センター講演会

子どもの「の居場所」になろう！

人間は家庭だけでなく学校・職場、地域での人間関係を拠り所にして生きていますが、その拠り所で心の安全を図れないことがあります。

そうした時、特に子どもには「心の居場所」となるような存在が身近にある必要があります。

この講演会では、地域の身近な大人が、子どもの「心の居場所」となれるよう意識していきたいことを、心理教育カウンセラーにお話ししていただきます。



一緒に過ごす「時間」「人との関係性」も子どもの居場所になり得ます

講師

一般社団法人
コミュニティ・カウンセラー・ネットワーク



たなか じゅん

代表理事 田中 純 氏

国際基督教大学(ICU)教養学部教育学科卒業。
神経研究所附属晴和病院、中高教諭、学校カウンセラーを経て公文国際学園開講準備に参加。現在は赤坂溜池クリニックやNISE日能研健康創生研究所、築地本願寺などでカウンセリングやコンサルテーションを行っている。「一家にひとり、一課にひとりのコミュニティ・カウンセラー」を育てることを目標としている。

著書「ストレスに負けない家族をつくる」

令和5年秋から神戸新聞、京都新聞などで、『心のお手入れ ストレスマネジメント』を連載。

日時 令和7年12月4日(木)
午前10時～正午

場所 文京区民センター2A会議室
※駐車場はありません。
駐輪場もスペースに限りがあるため
公共交通機関をご利用ください。

申込 電話または入力フォームで
■電話

下記をお伝えください。

①氏名 ②電話番号

■入力フォーム

下記の二次元コードに必要事項を入力してください。



締切 11月27日(木)



相手会員やセンターとの情報共有、できていますか？

第2回 ステップアップ研修

「サポート中の提供会員に求められるリスクマネジメント」より



9月30日(火)に提供会員を対象として、ステップアップ研修「サポート中の提供会員に求められるリスクマネジメント」(講師:特定非営利活動法人次世代サポート 理事長 岩久由香氏)を開催しました。

講義やグループワークでは、リスクマネジメントにおける「情報共有」の重要性が話題にあがっていました。

リスク管理上、情報共有が必要だとしてあがったものを一部抜粋してご紹介します。

・サポート前後の子どもの健康状態、様子

サポート前は依頼会員から提供会員へ、後は提供会員から依頼会員へ引き継ぎましょう。

・ヒヤリハット(重大な事故に直結する一手手前の出来事)

提供会員・依頼会員・センター間で情報を共有します。

<例>

- ・子どもが提供会員の手を振り払って突然走り出し、自動車にぶつかりそうになった。
- ・会員同士では情報共有をしたが、センターには連絡していなかった。

次回のファミリー・サポート通信は、さくら連絡網での配信のみです

さくら連絡網の登録にご協力いただき、ありがとうございます。

今後も緊急時や、運営内容等に変更があった場合は、センターからメッセージを送りますので、必ずご確認ください。



年末年始について



12月27日(土)から令和8年1月4日(日)まで、センターは年末年始休業期間です。

1月のサポート連絡は、12月22日(月)までに必ずご連絡をください。

ご協力よろしくお願いいたします。

来年度の新入園・入学、進級等に伴う依頼について

来年度の新規依頼受付開始日は、さくら連絡網でお知らせしますので、ご案内までお待ちください。



退会をご希望の場合は、センターまでご連絡ください。

こちらの二次元コードからもご連絡可能です。

文京区社会福祉協議会 ホームページ→
<https://www.bunsyakyo.or.jp/contactus>



文京区社会福祉協議会
キャラクター
きく文



問合せ先

文京区ファミリー・サポート・センター ☎03-3812-3043

〒113-0033

文京区本郷4-15-14 区民センター4階

文京区社会福祉協議会 ささえあいサポート係

ファミリー・サポート・センター ホームページ→

